

PT・OT 臨床カステップアッププログラム

高度な臨床推論の展開による
適切な治療が提供できる能力を身につける

期間：1年
定員：10名

1 プログラムの概要

本プログラムは、新人教育を終えた臨床経験3年以上の理学療法士・作業療法士の次のステップとして、より高度な専門的視点を持ち、臨床場面において、患者・対象者の状態に応じた高度な臨床推論の展開による適切な治療プログラムの提供ができる能力を育み、多職種連携の中でリーダーシップが発揮できる能力の育成を目的としています。本学大学院のカリキュラムを基盤として、体系的に編成し、総時間数120時間以上の特別の課程を1年間の履修証明プログラムとして提供するものです。

公益社団法人日本理学療法士協会、一般社団法人日本作業療法士協会、NPO法人全国在宅リハビリテーションを考える会と連携し、より実践的で専門的な教育プログラムを提供します。



2 身につく知識・技術と得られる能力

●身につく知識・技術

画像や検査の結果から
臨床判断を行うために必要な知識

障害構造を的確に捉え
臨床推論を展開する知識

症例検討を行うために必要な
症例提示能力と検討技能

予防支援ならびに健康増進活動の
展開に必要な知識

地域生活の諸問題に対する評価や
支援に関する知識

●得られる能力

高度な臨床推論能力とその展開による
臨床マネジメント能力

プロフェッショナルとして求められる
後進の育成力

理学療法・作業療法実施前ならびに急変時に
的確に対象者の状態を確認するための
フィジカルアセスメント能力

理学療法・作業療法の各専門分野における
評価から治療技術に至る
実践的展開力



3 開講内容

必修科目

科目名	配当学期	単位数	時間数	授業コマ数
リハビリテーション科学トピックスセミナー	後期	1	18	12
大学院 鑑別診断学（画像診断・臨床検査）	前期	1	18	12
大学院 鑑別診断学（臨床推論）	後期	1	12	8
大学院 症例提示法特論	前期	1	12	8
大学院 症例検討実践特論	前期	1	12	8

選択科目（下記科目の中から48時間以上を履修）

科目名	配当学期	単位数	時間数	授業コマ数
アドバンスト・フィジカルアセスメント	前期	2	22.5	15
大学院 体表解剖学実践特論	後期	1	12	8
大学院 物理療法実践特論	前期	1	12	8
運動器系理学療法実践特論	前期	1	15	10
内部障害理学療法実践特論	後期	1	12	8
大学院 高次脳機能特論	前期	1	12	8
大学院 高機能広汎性発達障害特論	前期	1	12	8
大学院 精神作業行動特論	後期	1	12	8
精神発達包括的評価特論	後期	1	12	8
ヘルスプロモーション	前期	1	12	8
臨床実習教育方法論演習	前期	1	15	10
大学院 地域作業学特論	後期	1	12	8

※ **大学院** は大学院 医療科学研究科 修士課程の科目（以下、大学院科目）ですので、大学院生と共に履修します。

※ 時間割については出願時期にホームページに掲載する予定です。

4 修了要件

本プログラムの修了要件には、上記の必修72時間と選択科目48時間以上の合計120時間以上を1年間で修得することが求められます。修了者には文部科学大臣認定の本プログラム「履修証明書」を授与します。

また、修得した単位の一部は、4年以内に本学大学院（医療科学研究科 修士課程）に入学した場合に、既修得単位として認定します。

5 大学院進学希望者への対応

本プログラム履修後4年以内に大学院（医療科学研究科 修士課程）に入学すると、大学院科目は単位認定を受けられます。科目等履修制度を利用して、当該プログラム以外の大学院科目を履修し、単位認定を受けることもできます。

大学院進学を希望しておられる方は、ぜひ本プログラムをご活用ください。